

科目の年間授業計画（シラバス）

| | | | | | |
|------------|--|---|--|---|------|
| 教科・科目 | 国語科・「現代の国語」 <必修科目> | 単位数 | 2 単位 | 履修学年 | 1 学年 |
| 目標 | <p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2) 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。 (3) 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。</p> | | | | |
| 使用教材 | 「新編 現代の国語」（50・大修館・現国・707）、デジタル教材、その他に教科担任が随時配布するプリント類 | | | | |
| 評価の観点・評価規準 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 | |
| | 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。 | 「読むこと」において、文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。「書くこと」において、相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ深めている。「話すこと・聞くこと」において目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして自分の考えを深めている。 | | 国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。 | |
| 評価方法 | 次に示す要素から総合的に観点別評価を行う。①定期考査 ②授業への積極的な取り組み状況 ③各観点に応じた課題等に対する取り組み ④補講や特別の課題に対する取り組みの誠実さ、提出期限の遵守等 | | | | |
| 学期 | 学習内容 | | 学習のねらい | | |
| 1 | <p>ことばをひらく</p> <p>1) 教科書：【「変わる」ことを楽しもう】 【コミュニケーションは技術だ】</p> <p>日本語を使いこなす</p> <p>2) 教科書：1【ことばの使いわけ】</p> <p>2【正しく書こう】</p> <p>3【文を整え、文をつなぐ】</p> <p>4【伝わるようにはなそう】</p> <p>3) 常用漢字、文法、表記、語句、語彙等の学習のための配布プリント</p> <p>※教科書内の教材は、一部を割愛したり、別教材に置き換えることがある。</p> | | <p>1) 筆者の考えを読み取り、「現代の国語」の学習に対する意欲をもつ。</p> <p>2) 1場面や目的に応じて適切な言葉を選ぶ。敬語の正しい使い方や類義語のニュアンスの違いを理解し、適切に使い分ける。 2正しく適切な表記について理解する。表記や係り受けに注意して、正確で整った文を書く。原稿用紙の使い方を知る。 3あいまいな文や長くてわかりにくい文を避け、簡潔でわかりやすい文を書く。 4相手に伝えたいことをわかりやすく整理して話す。</p> <p>3) 常用漢字、文法、表記、語句、語彙等の基礎を身につけ、表現と理解に役立てる。</p> | | |
| 2 | <p>わかりやすく説明する</p> <p>1) 教科書：【ナンバーワンか、オンリーワンか】 【生きることと食べることの意味】</p> <p>聞く力を育む</p> <p>2) 教科書【聞き取りのレッスン】</p> <p>論理を読み取る</p> <p>3) 教科書【水の東西】</p> <p>読書の広場</p> <p>4) 教科書【ももこの生きもの図鑑】</p> <p>5) 常用漢字、文法、表記、語句、語彙等の学習のための配布プリント</p> <p>※教科書内の教材は、一部を割愛したり、別教材に置き換えることがある。</p> | | <p>1) 説明のしかたに注意して文章を読む。順序を表す言葉や接続表現、問題提起と答えに着目して、文章の構成をつかむ。</p> <p>2) 大切なことを落とさずに、正確に聞く。自分にとって必要な情報を意識して、メモを取りながら聞く。</p> <p>3) 主張と根拠、具体と抽象、対比に着目することで、論理展開をとらえる。論理的な文章の要旨を的確に読み取る。</p> <p>4) POPに必要な情報を整理し、伝えたいことを明確にする。POPの表現の工夫を知り、効果的な紹介文を書く。</p> <p>5) 常用漢字、文法、表記、語句、語彙等の基礎知識を身につけ、表現と理解に役立てる。</p> | | |
| 3 | <p>情報と向き合う</p> <p>1) 教科書【情報の力関係】</p> <p>社会に目をむけて</p> <p>2) 教科書【何のために「働く」のか】</p> <p>3) 常用漢字、文法、表記、語句、語彙等の学習のための配布プリント</p> <p>※教科書内の教材は、一部を割愛したり、別教材に置き換えることがある。</p> | | <p>1) 視点や根拠に注意し、情報を吟味しながら読む。図表などから必要な情報を読み取る。</p> <p>2) 筆者の主張を的確に読み取り、それに対する自分の意見を持つ。読み取ったことをもとに自分の考えを広げたり深めたりする。</p> <p>3) 常用漢字、文法、表記、語句、語彙等の基礎を身につけ、表現と理解に役立てる。</p> | | |
| 学習上の留意点 | この科目の中で行う授業は、国語科目の学習の基礎的方法や知識・習慣等を身につけるためのものです。ある程度まとまった文章を読み解いていく作業、その文章の主題や要旨などを検討していく作業等は、国語科の教室における一つの「実技・演習」でもあります。従って、授業に参加して課題に取り組むことはそれだけで学習成果に値し、逆に欠課は「実技・演習」としての評価を欠きます。授業に参加し必要な準備物を机の上に用意し、私語・居眠り・携帯などをせず誠実に日々の課題に取り組んだかどうか、相応分学習評価に反映するので留意して下さい。 | | | | |

科目の年間授業計画（シラバス）

| | | | | | | |
|------------|--|---|-----|---|------|------|
| 教科・科目 | 国語科・「言語文化」 | <必履修科目> | 単位数 | 2 単位 | 履修学年 | 2 学年 |
| 目標 | 国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。 | | | | | |
| 使用教材 | 「新編 言語文化」（50・大修館・言文・706）、デジタル教材、その他に教科担任が随時配布するプリント類 | | | | | |
| 評価の観点・評価標準 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 | | |
| | 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め文章の中で使うことを通して語感を磨き、語彙を豊かにしている。古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり等について理解している。 | 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 | | 作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えを持つようとしている。日本語の表記の特色や独自性について学習した内容をもとにして自らの言語感覚を磨き、語彙を増やそうとしている。古文や漢文に興味を持ち、学習に意欲的に取り組み、理解を深めようとしている。 | | |
| 評価方法 | 次に示す要素から総合的に観点別評価を行う。①定期考査 ②授業への積極的な取り組み状況 ③各観点に応じた課題等に対する取り組み ④補講や特別の課題に対する取り組みの誠実さ、提出期限の遵守等 | | | | | |
| 学期 | 学習内容 | | | 学習のねらい | | |
| 1 | <p>ことばと出会う</p> <p>1) 教科書：【言葉の森を育てよう】</p> <p>【季節の言葉と出会う】</p> <p>表現を味わう</p> <p>【とんかつ】</p> <p>古文に親しむ</p> <p>2) 教科書：【児のそら寝】</p> <p>3) 常用漢字、文法、表記、語句、語彙等の学習のための配布プリント</p> <p>※教科書内の教材は、一部を割愛したり、別教材に置き換えることがある。</p> | | | <p>1) ・言葉についての筆者の考えを読み取り、言葉が果たしている役割を理解する。</p> <p>・日本で受け継がれてきた自然観や美意識について、筆者の主張をとらえる。</p> <p>・登場人物の描写から人物像をとらえ、場面ごとの心情を読み取る。場面の展開に着目し、作品の構造を理解する。</p> <p>2) ・繰り返し音読し、古文の読みに慣れる。</p> <p>・児と僧たちの行動、心情の移り変わりを読み取る。</p> <p>3) 常用漢字、文法、表記、語句、語彙等の基礎知識を身につけ、表現と理解に役立てる。</p> | | |
| 2 | <p>文化を見つめる</p> <p>1) 教科書：【足し算の文化】</p> <p>聞く力を育む</p> <p>2) 教科書【羅生門】</p> <p>古人に学ぶ</p> <p>3) 教科書【論語 学問のすすめ/社会に生きる】</p> <p>4) 常用漢字、文法、表記、語句、語彙等の学習のための配布プリント</p> <p>※教科書内の教材は、一部を割愛したり、別教材に置き換えることがある。</p> | | | <p>1) ・日本文化の特徴について、筆者の主張をとらえる。</p> <p>・身の回りの例を探しながら日本文化の特色について理解を深める。</p> <p>2) 小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取る。</p> <p>3) ・『論語』の内容を正確にとらえ、学問と人生について孔子の考え方を理解する。</p> <p>・孔子の思想と現代との関わりについて、自分の考えを深める。</p> <p>4) 常用漢字、文法、表記、語句、語彙等の基礎知識を身につけ、表現と理解に役立てる。</p> | | |
| 3 | <p>ことばと生きる</p> <p>1) 教科書【祖母が笑うということ】</p> <p>旅への思い</p> <p>2) 教科書【土佐日記 門出】</p> <p>3) 常用漢字、文法、表記、語句、語彙等の学習のための配布プリント</p> <p>※教科書内の教材は、一部を割愛したり、別教材に置き換えることがある。</p> | | | <p>1) ・叙述をもとに、場面の様子や人物の心情を想像しながら読む。</p> <p>・文章の展開のしかた等に着目し、文章表現を味わう。</p> <p>2) ・文章の展開や和歌の内容に注意して、登場人物の心情を読み作品の主題と表現の特色を理解する。</p> <p>3) 常用漢字、文法、表記、語句、語彙等の基礎知識を身につけ、表現と理解に役立てる。</p> | | |
| 学習上の留意点 | この科目の中で行う授業は、国語科目の学習の基礎的方法や知識・習慣等を身につけるためのものです。ある程度まとまった文章を読み解いていく作業、その文章の主題や要旨などを検討していく作業等は、国語科の教室における一つの「実技・演習」でもあります。従って、授業に参加して課題に取り組むことはそれだけで学習成果に値し、逆に欠課は「実技・演習」としての評価を欠きます。授業に参加し必要な準備物を机の上に用意し、私語・居眠り・携帯などをせず誠実に日々の課題に取り組んだかどうか、相応分学習評価に反映するので留意して下さい。 | | | | | |